

## 令和7年度 鹿児島女子短期大学 地域連携活動報告

### 1 課題

地域資源を活かした関係人口の創出

### 2 連携機関名

垂水市(企画政策課)

### 3 課題解決に向けた目標・取組等

- 目標 学生が大学で学んだ知識、現地での地域活動の中で得られた体験・学びを基に連携事業を実践し、垂水市の魅力を発信、関係人口増加につなげる。
- 取組 本市の特産品を活用した商品開発  
垂水市公式イメージキャラクター「たるたる」を活用したグッズ開発  
垂水市の情報発信 ほか

### 4 取組実績(実施日・目的及び内容・場所・参加者等)

- 5月2日 令和7年度の取組に係る協議(本学)  
教職員4名、株式会社総広1名
- 6月12日 令和7年度の取組に係る協議(オンライン)  
垂水市担当者2名、教職員3名、株式会社総広1名
- 6月23日 今後の連携活動に関する目標・取組資料の送付(メール)  
垂水市担当者へ
- 6月27日 「THOUSAND GARDEN TARUMIZU カフェメニュー検討・販売及び広報」  
PR動画制作、社長インタビュー(垂水市)  
垂水市担当者、教職員1名、学生4名、株式会社総広1名、  
THOUSAND GARDEN TARUMIZU1名
- 8月7日～8日 垂水市就業体験(垂水市)  
垂水市担当者、学生2名
- 9月5日 「観光テーマ」SUP体験(垂水市)  
垂水市担当者、教職員1名、学生11名、株式会社総広1名
- 9月17日 「観光テーマ」キャニオニング体験(垂水市)  
垂水市担当者、教職員1名、学生6名、株式会社総広1名
- 9月19日 「産業体験」カンパチ養殖場での餌やり、冷凍庫体験、魚さばき体験(垂水市)  
垂水市担当者、教職員4名、学生12名、株式会社総広1名
- 11月27日 「THOUSAND GARDEN TARUMIZU カフェメニュー検討・販売及び広報」  
学生考案メニュープレゼンテーション(オンライン)  
垂水市担当者、教職員3名、学生2名、株式会社総広1名、  
THOUSAND GARDEN TARUMIZU1名

- 12月1日 カンパチミートを使ったレシピ考案・学内試作(本学)  
教職員3名、学生4名
- 1月13日 「THOUSAND GARDEN TARUMIZU カフェメニュー検討・販売及び広報」  
学生考案メニュー試食会(垂水市)  
垂水市担当者、教職員1名、学生3名、株式会社総広1名、  
THOUSAND GARDEN TARUMIZU1名
- 1月16日 令和7年度 of 取組状況及び令和8年度の計画に係る協議(オンライン)  
垂水市担当者2名、教職員4名、株式会社総広1名
- 1月23日 「コラボパン販売」学生考案メニュー再販・広報用ポスターデザイン制作(垂水市)
- 1月25日 「THOUSAND GARDEN TARUMIZU カフェメニュー検討・販売及び広報」  
学生考案メニュー試食会イベント(垂水市)  
垂水市担当者、教職員1名、学生12名、株式会社総広1名、  
THOUSAND GARDEN TARUMIZU
- 2月5日 垂水市観光PRのCM撮影(垂水市)  
垂水市担当者、教職員1名、学生5名、株式会社総広1名
- 2月6日 「特産品を利用した新しい製品の開発」たるたるグッズ開発 エコバッグ完成
- 2月28日 「THOUSAND GARDEN TARUMIZU カフェメニュー検討・販売及び広報」  
学生考案メニュー販売開始(垂水市)
- 2月9日 令和7年度の連携事業に係る活動報告及びフィードバックほか(垂水市)  
垂水市長、副市長、教育長、総務課長、財政課長、企画政策課  
教職員4名、学生19名、株式会社総広1名
- 2月27日 令和7年度「地域連携会議」  
令和7年度活動報告・評価、令和8年度計画確認等  
垂水市他、本学との包括連携先3自治体より計5名  
学長、副学長、ほか教職員9名

## 5 連携事業の効果と評価について

(1)参加した学生全員が、本事業を通して垂水市との関係を構築しながら、地域に関する知識を獲得しつつ地域活性化事業に取り組んだことにより、地域貢献に資する人材育成の一助となった。

(2)垂水市長をはじめ、行政自治体の長を務める人々の前でプレゼンテーションや報告会を実施するなど、大学で身につけた能力を、普段経験することのない場において実践する機会を提供することができた。

(3)キャニオニング体験や SUP 体験、漁業体験を通して地域の観光資源や特産品について知識を得るとともに、テレビCMやSNSを通じたメディア発信を行うことで、地域社会の一員としてのローカルアイデンティティを自覚する契機を与えることができた。

(4) 垂水市における 4 つ目のランドマーク施設として新たに誕生した「THOUSAND GARDEN TARUMIZU」の広報に寄与するため、テレビ CM や SNS を通して発信を行った。また、同施設のカフェで提供するメニュー開発にも取り組み、鹿児島女子短期大学と垂水市の両者を PR することができた。

## 6 総括

鹿児島湾を挟み、薩摩半島側と大隅半島側に分かれて東西向かい合うように位置する鹿児島市と垂水市。両市間における人の往来は、経済規模の差によって圧倒的に後者から前者に向かう流れが多く、鹿児島市近郊に住む学生の多くは、垂水市との関係が希薄である。こうした地域内における人の移動の不均衡さが課題となっている中、本学の学生が地域活性化のためのさまざまな事業に挑戦し、垂水市への関係人口の増加を企図する、「地域資源を活かした関係人口の創出」をテーマとした連携活動が始動した。

3年目となる令和7年度は、教養学科 28 名の学生と生活科学科食物栄養学専攻 5 名の学生たちが参加した。前者は垂水市公式イメージキャラクター「たるたる」のグッズ開発を前年度から継続しつつ、同時にテレビ CM や SNS 等のメディアを通じた垂水市の魅力発信に取り組んだ。後者は、垂水市が日本一の生産量を持つ 養殖カンパチの未利用素材を用いたレシピについて、前年度の成果の改善版を試作した。

上記の取り組みの中で、学生たちは合計 8 回に渡り垂水市を訪れ、目的を達成するための活動を行った。学生たちは、活動を通して垂水市についてのさまざまな知識を得るとともに地域の人々との交流を深め、自らが居住する場所以外の県内地域と携わることで、ローカルアイデンティティを自覚するきっかけを得ると同時に、地域が抱える課題について理解を深めることができたと言える。また、テレビ CM や SNS 等のメディアを通して地域の魅力を発信する活動によって、参加した学生の友人・知人などを中心として情報が波及し、持続的に垂水市の魅力について PR できる結果に結びつけることができた。

## 7 今後の改善内容及び展開

昨年度の活動においては、垂水市におけるアクティビティを学生が経験したのはいいものの、社会に対する PR 活動という意味においては若干弱いということが、要改善点として挙げられていた。今年度はそれをふまえて、活動をより垂水市の PR 活動に転換させるメディアリレーションズを意識し、SNS での投稿に関して関係者間で相談しつつ、より精緻で密な発信を行うよう努めた。また、学生が垂水市の観光スポットを巡るというコンセプトのテレビのスポット CM を、垂水市および広告代理店との連携のもと制作し、観光を通じた関係人口創出に資する PR を行った。ただし、年度当初に計画していた連携企画のいくつかについて、複数の要因から実施できなかったものもあった。次年度では、関係者間の連絡をより密に行うことによって、情報を常にアップデートしながら連携事業を進めていき、計画に沿った事業内容を展開していきたい。

令和7年度 垂水市との連携活動報告（写真）



6月12日  
令和7年度連携活動に係る協議（オンライン）



8月7日～8日  
垂水市就業体験（インターンシップ）



9月5日 SUP体験



9月17日 キャンオニング体験



9月19日 漁業体験



2月5日 垂水市観光PRのCM撮影



2月9日 活動報告会



2月27日 地域連携会議

\* THOUSAND GARDEN TARUMIZU コラボメニュー開発 \*



6月27日 PR動画撮影・SNS広報



2月28日より販売開始



1月25日 販売促進イベント（試食会）



\* アマンカ コラボメニュー開発 \*



1月23日より販売開始

（令和6年度に食物栄養学専攻の学生が開発したメニューを再販。令和7年度用広報ポスターを観光研究サークルの学生がデザイン。）

\* カンパチミートを使ったレシピ試作 \*



12月1日 レシピ考案・学内試作